

11月4日(土)~5日(日)開催 湖南省文化祭 出演者・出品者募集

市民の皆さんが日頃取り組んでいる文化・芸能活動の成果を発表する祭典です。公演と展示、体験コーナーを中心に多彩な催しを行います。

■会場 石部文化ホール・石部まちづくりセンター

応募資格

- ・市内に在住か在勤・在学する人
(中学生以下は保護者が申し込み)
- ・市内で活動する文化団体に属する人

※出品・出演する団体と個人は、文化協会会員、一般参加に関わらず準備・後片付けも含めて実行委員として運営に関わっていただきます。

■出演料(公演の部) 一部門1人当たり500円

■出品料(展示の部) 一部門1人当たり500円

※部門や規格、申込日など詳しくは、各まちづくりセンターに8月中旬に設置する募集要項(申込書)をご覧ください。



▲ステージ



▲展示

☎生涯学習課(西庁舎) ☎77・6250 ☎77・6253

With KONAN
ニュース
No.10

多文化共生をめざして やさしい日本語を 知っていますか??

みなさんはやさしい日本語を知っていますか?やさしい日本語は、阪神・淡路大震災で被災した外国人が必要な情報を十分に得ることができなかったことから、災害の情報などを簡単な日本語で伝えるためにつくられました。

人や物が国境を越え、自由に行き来するグローバル社会になり、日本で暮らす外国人数は年々増加し(※)、湖南省においても、外国人比率は県内トップ、外国人数は増加傾向にあります。こうした状況の中、やさしい日本語は災害時の外国人向けの情報提供のための言語としてだけでなく、ふだんもさまざまな場面で使うことができる言語として期待されています。

では、やさしい日本語はどのような場面で使うことができるのでしょうか。たとえば、行政サービスを知らせる文書、自治会のお知らせ、日本人と外国人のコミュニケーションの場などが挙げられます。このような場面を考えると、外国人のためだけに使う言語と思われるかもしれませんが、やさしい日本語は私たちが使う日本語をより簡潔にわかりやす

くするので、誰にとってもわかりやすい表現になります。障がいのある人や高齢者、子どもなどが情報弱者にならずに社会に参画するために役立つと言われ、誰にとってもやさしい言語になるのです。ここでやさしい日本語の一例を紹介します。

「今朝」↓「今日の朝」、「嚴重に注意してください」↓「気をつけてください」やさしい日本語のポイントは、「必要な情報を選ぶ」、「あいまいな表現はさける」、などが挙げられます。

湖南省では誰にとっても暮らしやすい多文化共生のまちづくりを進めています。多文化共生のまちづくりには、自分と違う文化、価値観をもった人と交流することがとても大切です。誰にとっても暮らしやすいまちにするために「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションしてみませんか?

※日本の中長期在留者と特別永住者を合わせた外国人数は238万2822人で、過去最高となりました。(平成28年末現在法務省入国管理局調べ)。